

＊ 卓 話

“青函局と十勝地震のその後”

青函船舶管理局長

笹尾 昇 氏

十勝沖地震から既に1ヶ月が経過致しましたが、天災とは申せ大変御迷惑をおかけ致しております。本日は、地震当日の模様、復旧経過、局の計画、予定等をお話申し上げたいと思っております。

16日午前9時49分に地震がおき、青函局管内では20本の列車が運行しておりました。幸い1.5分後に全面的に無事であるという事で安心致したことでございました。

しかし、青森側は激震ということで、青函輸送が心配されました。調べに依りますと、函館の第1岸壁、青森の第1、第2は少しの修理で使えることがわかり、結局連絡船は10往復出来る見通しが立つたわけです。しかし平常、22～23往復ですので、平時の4割程度の輸送能力にすぎません故、この復旧対策には力を注いだ次第でございます。

又、列車の方は、30分程で全路線の点検を終えて運転を開始することが出来ました。

被害で一番大きかったのは、第2岸壁のケイソンが海の方に50cmゆがんでしまったことであり、又建物の方で、待合室の柱がほとんどやられまして使用不能となり、更に第2岸壁への通路が使用出来ぬ状態になったことでございます。その他なお3、4ヶ所被害を受けておりますが、幸い、青森、函館に乗船客がおらず、不幸中の幸いでございました。

その後の対策と致しましては、手小荷物、新入会員 太刀川千吉郎君

切符等の扱いを、棧橋と駅をひとまとめにするほか、2、3の構想を持つて仕事を進めております。尚、若干PR的話になりますが、今秋と来春にそれぞれ大型新造船がお目見え致しますし、又道南各路線の複線化を計り、輸送能力の増大を考えております。又、国鉄は道内で最高の納税をしておりまして、その他にも借入金も多く、こうお話申し上げているうちにも多額の返済を考えている次第でございます。

蒸気はなくなりましたが、火の車でございまして、早く返済を済ませて立派な鉄道にしたいと日夜念願努力している次第でございます。



通算 1,967回
函館北ロソラブ

Weekly Report of Hakodate North R.C

第204回例会

例会場 函館拓銀ビル
例会日 毎週水曜日
12.30～13.30

“参加して敢行しよう！”

(Participate)

7月 ～ 七夕で愈々盛夏

1日 函館開港記念日 13日 盆迎え火
国民安全の日 16日 やぶ入り

7日 七夕 20日 土用・海の記念日

10日 国土建設週間

本日のプログラム
深瀬新会長の挨拶 他

- ＊ 司 会 俣野会長
- ＊ 斉 唱 奉仕の理想
- ＊ ビジター 岡田小治君(士別C・酒類販売)
- 高野源蔵君(札幌RC・水産加工)
- 棟方 忠君 他8名(函館)
- 森岡 勝君 他12名(函館東)

＊ 幹事報告

1. 小笠原の本土復帰が本日零時20分を期して成りました。23年ぶりの復帰で、本当によろこばしい事であります。
2. 先に寄贈のスピーカーに対し、交通安全協会から感謝状が届いております。

＊ 出席委員だより 遠藤委員

1. 過日、3年間無欠席の方を表彰致しましたが、その後1年間無欠席の方をも表彰したいと会長にお願い申し上げましたところ、賛同頂き、本日11名の方にモーニングカップを贈り表彰致したいと思っております。

受彰者は、青柳・平野・高崎・野村・杉本・高杉・山辺・山内・下郡山・布目・杉の11君であります。

✽ ニコニコ・ボックス

本 S A の山形君、本日任満了しましたが、皆様に感謝の意味で、ニコニコ・ボックスに金一封を寄贈されました。尚、委員長も同趣旨で金一封を寄贈されました。

✽ 退任挨拶

1. 新谷東 R・C 会長

昨日を以て、最後の鐘を鳴らし終りました。対外的行事が沢山ありましたが皆様の御協力を頂きまして、無事任満了させて頂きました。有難うございます。

2. 木谷副会長

この1年、国際的、典型的ロータリアンである侯野会長の下にありながら、なす所なく無為無策に終始しましたことを恥ずかしく存じております。来月からは在野に於いて、北ロータリアンとしてお役に立ちたいと願っております。

3. 外山副会長

早いもので1年が経過しました。今年は旅行が多く、各地の R・C の形勢を拝見致しましたが、400回を越える九州、四国の R・C、会員70名に対してビジターが130名という東京銀座 R・C が特に印象に残っております。又、ロサンゼルスからの来信も忘れ得ぬことの一つでありました。

4. 成田プログラム委員長

会長より、一年苦労したと御慰労頂きましたが、有難いことです。ゲストスピーチが都合で取り止めになることなどしばしばあり、その都度速藤先生にお願いを致しお引受け頂いたことでございました。

先般富士鉄永野社長の経済講演会に於ける話など、非常に有意義なものでございましたが、このようにゲストスピーカーをお引き受け頂けたことには、北 R・C、函館 R・C、東 R・C の大きなバックがあつたからこそと存じます。この一年間、誠に有難うございました。

5. 侯野会長

昨年7月5日、明治生命ホールから引越して参りましてから1年でございます。会長をお引受けしたからには先ず健康に留意せねばと、それまでは朝昼晩米の飯を食べておりましたのを、以来朝昼は涙をのんでパン食とし、夜だけ米の飯ということに替えたことでした。おかげで、49回の司会を無事つとめさせて頂きました。

初めのうちは、何もわかりませんでしたが、幸いベテランの水戸幹事に助

けられまして、野球で云えば、水上キャッチャーのサイン通り投げれば良いというわけで、非常に楽でございました。ところが思うにまかせぬもので、4月に水上幹事が病気になるれ、杉本キャッチャーに替りまして、無事本日に至りました。

ガバナーの公式訪問までは、会長というものは大変だ、早く済めば良いと申しておりましたが、年が明けましてからは、余りいやだいやだといつては、あとの人が尻ごみすると考え、その索制の意味で、やつた方がよい、面白いぞと申すようになりまして、今日で漸く終りでございます。

成田プログラム委員長の話にもありましたが、私も生来はにかみやで、女の人の顔などまともには見れない。小児科の方ですから、大低小供の方だけみても母さんの顔はみないで済みます。それでデパートで、お母さんに挨拶されて途惑うようなことだつたのですが、49回の司会を経て、こういう話が出来ようになりました。

又外国はじめあちこちに参りましたときも、ロータリーのマークのおかげでいろいろな方のお近づきを頂き、ロータリーのおかげとつくづく感謝致したことでございました。

北ロータリー・クラブの場合、会員よりもビジターの方が多いという時がある。その紹介に時間をとられ、私などゆつくり食事できぬ時もしばしばでございました。会員の数も順調に伸び、飯田前会長さんの後半から出席率も良くなり、私は非常に思われたムードの中で会長をお引受けできました。しかも遠藤出席委員長の尽力で一層出席率が伸び、今では、函館 R・C、東 R・C をも凌ぐ程になつて参りました。このことは、私にとつても、本当に嬉しいことでございます。

一年間、函館 R・C、東 R・C の方々の御援助を頂いて今日に至りましたが、今後とも増々御鞭撻と御指導をお願い申し上げます。

誠にとりとめない挨拶ではありますが、誠に有難うございました。お礼申し上げます。

✽ 出席報告

- | | | | |
|-----------|-----------|--------|----------------|
| 1. 本日の出席 | 会員 40名 | 出席 34名 | 欠席 6名 |
| 2. 前回の出席率 | 会員 40名 | 出席 34名 | 欠席 6名 |
| | 他クラブ出席 4名 | 合計 38名 | 95% |
| 3. 他クラブ状況 | 函館 R・C | 97.3% | 函館東 R・C 85.53% |

・東ヶ崎R. I 会長・

◦ 脚下照顧のとき ◦

私は今度は新しいプログラムを出さず、現在行ないつつあるプログラムを徹底強化したい。盛り沢山でこなし切れないのではつまりませんからね。

それでロータリーの目的は十分達せられると思いますよ。

結局はR. Iの基根である各々のクラブ、これはロータリーという大きな鎖の1個の輪に当たるわけで、現在または将来のこの大組織には弱い部分があつてはいけない。外観だけ立派でも空疎だつたりしてはいけませんからね。

この地固めをしたい。これが根本です。

鎖の輪の一つ一つにも大小があります。25人のクラブと100人・500人のクラブでは当然活動力は一律ではありません。